

今年も公民館に秋を告げる フルートの調べ



発行所
長野市立安茂里公民館
電話 226-4059
発行人 新見 宏司
発行月 5.7.9.11.1.3月
(株) 信光社

安茂里地区 世帯数と人口 (9月1日現在)

世帯数	9,139戸
総人口	19,858人
男	9,571人
女	10,387人

ここ数年と同じ様に今年も暑い夏となり、猛暑にうんざりという方が多かったと思います。特に今年は長野市で真夏日が53日も続き、真夏日の連続記録日を更新するなど異常な暑さが続きました。そして、9月に入っても日中30度を超える暑い日が続く中、11日に開かれた杉山由一先生の講座「フルートの調べ」。安茂里公民館の芸術の秋最初の講座です。この講座に参加された多くの人たちが言います。「フルートの演奏、本当によかった」「改めて音楽の素晴らしさを感じました」「童謡からクラシックまで幅広く考えていただき本当に感謝」。フルートの音色に魅了される多くの人達、この講座はリピーターが多く半分以上の人が去年に続いての参加です。先生もリピーターの人が多いのは有難いと、喜んでいらっしやいました。現在は短大で講師をされる先生ですが、音大を卒業後、県内の小中学校を中心に音楽の先生として活

躍され、吹奏楽や合唱のコンクールでたくさんさんの学校を全国大会へ出場するまでに育て上げた実績をお持ちです。そして、ご自身のフルートについて「中学校から始めたフルートが、ここまで続くとはね……当初はトランペットをやりたいだったんだけど先生にお前はフルートだ」と言われてしぶしぶ始めたんだけど……今となれば有難いね……とそんな思い出話を織り交ぜながらのフルートの演奏でしたが、いつも最初の曲は「アルルの女からメヌエット」（ビゼー）に決めているそうです。何故ならこの曲の演奏でその日の自分の調子が分かるとか。調子が悪ければ悪いなりに上手にコントロールできるといふ事でしょうか……？この日は格段に調子が良く、フルートの音が気持ち良い程伸びる伸びると先生の談。そしてこの日もクラシックから始まり、「故郷」「里の秋」「紅葉」などの童謡をみんなで口ずさみ、懐かしい故郷の情景に思いを馳せました。また、「あなた」「異邦人」「聖母たちのララバイ」など参加者の多くが青春時代に聞いた懐かしい曲が続き、目をつぶり当时を思い出するように体を揺らす人の姿も見られました。

聞いていても、1年が過ぎていくのが年々早くなっている感じがする方が多いようです。そう感じるの何故？……その疑問に心理学的に説明してくれているフランスの心理学者がいました。ポール・ジャネです。彼は「一年月の長さは、年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられる」と説いています。これは「50歳の人間にとっての1年は人生の50分の1ですが、5歳の子供にとっての1年は5分の1に相当します。つまり、生きてきた年数によって1年の相対的長さがどんどん小さくなっていき、結果的に時間が早く感じる」という訳です。また、人は経験したことが無いことをやっている時は、それが強く意識に残り時間を長く感じ、反対に慣れてしまうとあっという間に時間が過ぎたように感じるそうです。子供のころは初めて体験する事ばかりで新しい発見や出会いがたくさんあります。一方、大人は新しい経験をする機会が少なくあつという間に時間が過ぎさってしまうのです。であるなら、みなさん新しいことにチャレンジしましょう！公民館にも様々なサークル活動や講座があり、あなたにとっての初体験のものがたくさんあるかも！

杏仁

11月に入りました。早いもので今年も残すところあと2か月となりました。「あつ」というまに1年が過ぎていきます。皆さんの会話を

待望の原田和彦先生 古文書講座 スタート!!

「古文書とは或る人から或る人へある意思を伝える為に差し出された文書のことを言い、古い日記は古記録に、物語は物語に分類され、古文書とは言いません。日本では文書による行政が奈良時代から行われ、公文書など古文書と呼ばれるものの殆どがこの行政文書と呼ばれるものです」という先生の説明に、講座の冒頭で「へえ、そうなんだ」と古文書の基礎中の基礎を改めて学んだ人も多かったのではないのでしょうか。講座の冒頭で先生が分かりやすい説明から入られたことで、皆さんのこの講座に対する期待感が大きく膨らんだのではと思います。私などはそんなことも知らずに古文書の講座に同席していたのかと深く自省してしまいました。そして先生はこう続けます。「現在の行政文書も何百年後には古文書として検証されるかも……ですから私は自分の文書を残さないようにしています」「武家社会では色々な意見書、陳情などが家老のところに集中

するもんですから家老が過労になっちゃって……」先生が体調を崩され最初の2回の講座が休講になり3回目以降はどうなるのだろうと心配していたのですが、「先生、おやじギャグを言うほど元氣じゃない」と一安心したものです。さて、今年の講座は「古文書に見る真田の歴史」と題して信州の歴史を語る時に欠かすことが出来ない「真田家」について5回シリーズで学びます。来月は関が原について……という先生の言葉に次回の講座への期待がまた大きく膨みました。

ブラザーモリ 絶好の日和に恵まれ 旧久保寺村の 4地区を歩く

9月に入ってもいっとうに暑さが和らぐことなく30度超えの日が続く中、予報では「その日」は少し涼しそうだ……と少なからず期待していました。すると「その日」は期待通り朝方から雨がパラつき気温もそれほど上がりません。そして講座が始まるころにはその雨も上がり、「ブラアモリ」に絶好のコンディションになりました。参加者

全員で「やったね、私たちみんな行いが良いもんね」と皆さん納得顔です。そんなブラアモリの10人に囲まれて多田井幸視先生の今年2回目的のブラアモリ、今回は旧久保寺村の差出・大門・小路・西河原の4地区が対象です。最初に訪ねたのは「花ごさ」で大きな財を成した赤尾善治郎さんが、郷里の母校の為に巨額を寄付し昭和7年に建築され今も現役の校舎として使用される安茂里小学校「赤心館」です。歴史の重さを感じる校舎と前庭に立つ善治郎さんの銅像を見ながら参加者は90年前に思いを馳せていました。続いて今も「数珠回し」が引き継がれる大門、そして平安時代の作とされる十一面観音が県宝に指定され、窪寺観音として親しまれる「正覚院」を訪ねその歴史に耳を傾けました。また「手作りの杜花火」を見ようと毎年多くの人が集まる犀川神社を訪ね、「そんなに多くの人が来るんですか?」「来てみたいな」と翌日に控えた秋の例大祭の賑わいを想像していました。

最後に小路と西河原の境にある太田沢を下りながら、この緩やかな坂を地元では「マインボ坂」と呼んでいるが、この「マンボ」という言葉の起源は何か?国内では他に三重県や伊那谷でも水に係った地下水路や横井戸を指して「マンボ」と呼んでいるという。太田沢の場合は信越線の開通で太田沢川通水の為に作った「水路橋」を指して明治のころから呼ばれ出したのではないかという事。それぞれに様々な発見のあった講座、今回は平柴・小柴見が中心です。



企業を訪ねて

今回は長野市の企業に加えて千曲市にあるワイナリーと食品製造会社も訪ねました。移動時間がかかると予想され通常4企業を回るところ今回は3企業になりました。さて、いまや宅配なくして日本の流通は成り立たなくなつてしまったと言つてよい程、クロネコや飛脚などのマークを描いたトラックが毎日所狭しと走り回っています。忙しさと勤務時間の関係もあり運転手



界、いったいどれくらいの荷物が集まるのだろうか?穂保にある「ヤマト運輸」の長野主幹支店に行ってみました。すると驚くなかれ、「あるわあるわ」ここは県内の東北信の荷物を扱っており、毎日約五万個の荷物が集まるそうです。続いて長野市街から一番近いと思われる千曲市のワイナリー「イルフェボー」を訪ねました。去年8月にオープンしたばかり、福岡出身の女性醸造家・北山さんの案内でブドウ畑も見学、美味しいワインを試飲して、満足そうな笑顔がこぼれていました。そして最後は「丸善食品」、製造ラインは年末年始を除いて止まることなく24時間1年中動いているそうで42社四百品を生産。「え、こんな近くで作ってたの」と言いたくなる親しみのある商品名が並んでいました。それにしても世の中激しく動いていると実感した今回の講座でした。

安茂里地区 老人クラブ連合会 秋季大会

令和5年度の安茂里地区老人クラブ連合会主催の秋季大会が9月19日に安茂里公民館にて行われました。

本年度は例年になく慶賀者が多く、ダイヤモンド婚が10組、金婚が10組、白寿が6名、米寿が54名の合計100名の方が対象でした。その中で、当日出席していただいたのは、ダイヤモンド婚が6組、金婚が2組、米寿が20名の合計36名でした。

受付や会場内では、あちこちから「おめでとう」の声が響き渡っていました。

安茂里地区老人クラブ連合会の和田会長からお祝いの挨拶のあと、慶賀者全員に祝状と記念品の贈呈がありました。慶賀者みなさんの笑顔があふれた素晴らしい贈呈式となりました。そして、慶賀者を代表して寺島新蔵様から謝辞があり、「100歳まで頑張ろう」とのお言葉もありました。布目議員と荒井住民自治協議

会会長から祝辞をいただき大会は閉会しました。

その後、部屋に分かれて記念写真を撮影しましたが、みなさん終始笑顔の一日となりました。慶賀者のみなさん誠におめでとうございます。



関東甲信越静から600人！ 公民館活動について 考える

第45回全国公民館研究集会・第63回関東甲信越静公民館研究大会が9月28・29日の二日間長野市で開催されました。

生涯教育、社会教育の拠点として期待される公民館は、人々が集うことで地域交流や人事交流が広がり、ひいては豊かな地域づくりへの貢献も期待されています。その期待に今以上に応える為にはどうすればよいのか、何が必要なのか：今一度、原点に立ち戻りこれまでの存在価値を維持しつつ、時代の変化やニーズに合った新たな役割を模索すべく関東甲信越と静岡の各地から600人以上の関係者が集まり2日間にわたって勉強しました。初日、長野市の芸術館で行われた全体会では主催者挨拶に続いて、来賓を代表し文部科学省・地域学習推進課長や阿部県知事の祝辞があり、荻原長野市長が地元を代表して歓迎の挨拶を述べました。そして優良職員・永年勤続等の個人表彰が行われたあと記念講演に移り、今回は五輪スピードスケート日本女

子初の金メダリストである小平奈緒さんが「人とつながる」と題して講演しました。その優しい声と、優しい語り口で「競技者として人間として、どんなに苦しい状況にあっても私は常に前向きに取り組もうと努めていました。例えば何か失敗しても、クソッ！と思うかヨシッ！と思うか？…私はヨシッ！次は頑張る…と思うようにしていました。皆さんは？」の問いかけに：「そうですか、殆ど手が上がっていませんね。会場はクソッ99%ですね」：会場は爆笑に包まれました。



このあと会場をホテル犀北館に移して情報交換会が開かれ、希望した200人余りが集まりました。会場の一角で披露される信州の蕎麦打ちを見学したり、女性和太鼓チームによる郷土芸能を楽しみながら信州の地酒を酌み交わし様々な話に花を咲かせていま

した。

そして大会2日目は普段公民館活動に携わる人たちが「地域防災」「公民館のあり方」「これからの情報発信」など様々な分科会に分かれて勉強し、今後の公民館活動に対する研究を深めていきました。

第21回安茂里地区 囲碁将棋まつり

8月27日(日)、コロナ禍のため3年中止した囲碁将棋まつりが、開催されました。残暑が厳しい中でありましたが、囲碁16名、将棋15名の参加の皆さんにより、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。



囲碁の部 優勝

・吉沢 正雄 2段
(優勝により3段へ)

将棋の部 優勝

・A組 庄村 俊二 5段
・B組 横塚美津男 5段
※将棋のA組B組は抽選

第32回 杏の里文化講演会

講師 ヘブンアーティスト 好田 タクト さん
落語家 快樂亭 狂志 さん

日時 12月9日(土) 午前10時～

場所 安茂里公民館 2階ホール ※入場無料

好田タクトさんは、クラシック音楽の指揮者の形態模写をされる芸人さんです。快樂亭狂志さんは安茂里小学校の講師でもあり、落語家さんでもあります。皆様で楽しい時間をお過ごしください。お申し込みのうえご来場ください。

定員 50名

申込み 11月13日(月)～

8:30～17:00 ☎ 226-4059

豊かな生活育てましよう

安茂里公民館 226-4059

生活文化講座

◎ジャズに魅せられて

講師 ニュー・モダンデュークス
石井 久美子
日時 11月21日(火)
午後1時30分～
定員 30名
申込み 10月31日(火)～

◎見つけよう!自分の味

美味しいコーヒーの楽しみ方講座

講師 水井 裕由
日時 11月29日(水)
午前10時～
定員 12名
持ち物 エプロン、コーヒーを入れる道具、カップ
申込み 11月9日(木)～
材料費 500円

◎お正月まで飾れるクリスマス

のフラワールンジメント

講師 戸津 泰征
日時 12月19日(火)
午前10時～
定員 20名
持ち物 エプロン、タオル
申込み 11月28日(火)～
※材料費別途

安茂里地区成人祝賀式のご案内

日時: 令和6年1月6日(土) 13時～15時(12時受付開始)

場所: 安茂里公民館(安茂里総合市民センター)

対象者: 平成15年4月2日から

平成16年4月1日の間に生まれた方

- ・対象者のうち安茂里地区に住民登録されている方には、11月中旬に案内状を送付します。
- ・対象者のうち安茂里地区外に住民登録されている方は、安茂里公民館(026-226-4059)にご連絡ください。

◎絵柄の入ったやしうま作り

講師 松本 博子
日時 ①1月31日(水)
②2月5日(月)
午後1時～
定員 12名
持ち物 エプロン、布巾
申込み 1月11日(木)～
※①か②どちらかの申込みになります。※材料費別途
※申し込み時間は各講座とも午前8時30分からです。

新刊のご案内

※貸し出しは、お一人5冊まで、2週間です。

また南部図書館の蔵書もリクエストできますので、窓口にお申し付けください。

書名	著者名	発行所	出版年
サンゼンエン ツカ カタ 三千円の使い方	ハラダ ヒカ 原田 ひ香	中央公論新社	2018
ロウガイ ヒト 老害の人	ウチダテ マキコ 内館 牧子	講談社	2022
ヒカリ 光のどこにいてね	イチホ ミチ 一穂 ミチ	文藝春秋	2022
コタ シヤクショ カイ 答えは市役所3階に	ツジドウ ユメ 辻堂 ユメ	光文社	2023
アレチ カゾク 荒地の家族	サトウ アツシ 佐藤 厚志	新潮社	2023
とりどりみどり	サイジョウ ナカ 西 條 奈加	祥伝社	2023
イトゴヨミ 糸 暦	オガワ イト 小川 イト	白泉社	2023
ケイジ ムスメ ナニ #刑事の娘は何してる?	シンドウ フコキ 新堂 冬樹	中央公論新社	2023
ヒョウリウウロク コロナ漂流録	カイドウ タケル 海堂 尊	宝島社	2023
カサハラマサヒロ フクサイ キウ 笠原将弘の副菜の極み158	カサハラ マサヒロ 笠原 将弘	扶桑社	2023
かくれんぼ	オザキ ゲンイチロウ 尾崎 玄一郎	ひさかたチャイルド	2023
ムゲン SHIORIの∞うどん	シオリ SHIORI	講談社	2023
わたしはかわいいマヌルネコ	たけがみ たえ	あかね書房	2023
カルペ ディウム CARPE DIEM	ヤマザキ マリ	エクスナレッジ	2023